

群馬県農業技術センター 研究成果

群馬県農業技術センターは、群馬県の気候風土に合った、安全でおいしい農産物を生産するための研究や技術支援、原種・原苗の生産を行っています。

当センターで育成した主な品種と開発した技術を紹介します。



小麦品種：さとのそら

小麦品種として「つるぴかり」「きぬの波」などを育成しました。「さとのそら」は、群馬でもっとも栽培面積の多い品種で、関東を中心に他県でも栽培されています。
(稲麦研究センター)



イチゴ品種：やよいひめ

イチゴ品種として「おぜあかりん」「とねほっぺ」などを育成しました。「やよいひめ」は群馬でもっとも多く栽培されている品種で、大果で糖度が高く果肉が硬く日持ちがよい品種です。
(育種係)



キャベツ加工：ザワークラウト

しっかりとした酸味のあるザワークラウトに安定して仕上がる連続発酵技術を開発しました。「妻の手しごと」(嬬恋村)で商品化されています。
(分析・加工係)



コンニャク品種：みやままさり

日本一のコンニャク産地、群馬を支える品種として「はるなくろ」「あかぎおおだま」などを育成しました。「みやままさり」は栽培しやすく高品質でもっとも多く栽培されている品種です。
(こんにゃく特産研究センター)



リンゴ品種：紅鶴

リンゴ品種として「あかぎ」「陽光」「ぐんま名月」「おぜの紅」などを育成しました。新品种「紅鶴」は、鮮やかな果皮色で、果肉は締まり、適度な糖度と酸味でさわやかな味わいです。
(中山間地園芸研究センター)

育成品種



水稻品種：舞風

水稻品種として「ゴロピカリ」「群馬糯5号」などを育成しました。「舞風」は本県二毛作に適した酒造好適米であり、収量性が高く、縞葉枯病抵抗性を有することを特徴とします。
(稲麦研究センター)



ブルーベリー品種：おおつぶ星

ブルーベリー品種として「はやばや星」「あまつぶ星」などを育成しました。「おおつぶ星」は7月上～中旬に成熟する大粒な早中生種で食味は良好です。
(中山間地園芸研究センター)



ウメ品種：群馬U6号
商標名：ゆみまる

本県主力品種の「白加賀」と開花期がほぼ一致し、受粉樹に適しています。自家結実性を持つため安定して結実し、生理障害の発生も少ない品種です。
(果樹係)



群馬I-RG1(極早生) 群馬I-RG3(早生)

イチゴ品種：
群馬I-RG1、群馬I-RG3(仮称)

両品種の糖度は「やよいひめ」よりも高く、収穫時期は「やよいひめ」より早い11月中下旬であり、年内収量の多い品種です。種苗法に基づく品種登録出願中(令和6年3月19日出願公表)です。
(育種係)



コギク品種：小夏の恋

コギク品種として「小夏の風」「小夏の月」「小夏の星」などを育成しました。「小夏の恋」は8月盆出荷が可能な本県オリジナルの新品種です。
(花き係)



ヤマノイモ品種：ぐんまとろりん

調理や加工がしやすい棒状形状の割合が高いヤマノイモの品種です。イモの粘度が高く食味も良好です。
(育種係)



タラノキ品種：
ぐんま春王NT

病気に強く、収量が多い「ぐんま春王」の突然変異系統で、茎や葉、促成芽のトゲが極めて少ないのが特徴です。
(こんにゃく特産研究センター)



ウド品種：
利根白(とねしろ)

軟白部の赤色化が少なく、収量の多い品種です。アクが少なく、柔らかくて食味もよいです。
(中山間地園芸研究センター)



ナシ品種：群馬N2号(仮称)
商標名：明泉

「幸水」より1週間早く、8月上旬から収穫できる極早生の品種です。大玉で香りの良い青ナシです。種苗法に基づく品種登録出願中(令和5年12月19日出願公表)です。
(果樹係)

栽培技術



ナシ「幸水」の摘心処理

「幸水」を摘心処理することで結果枝を安定的に確保し、大玉果生産を可能にする栽培体系を確立しました。（果樹係）



ブドウ「シャインマスカット」の省力栽培技術

開花から収穫期の作業時間を約35%短縮できる「シャインマスカット」の省力栽培技術を開発しました。（果樹係）



ブルーベリーの生育に及ぼす土壌要因の解明

ハイブッシュブルーベリーにおける土壌管理の違いが生育に及ぼす要因を解明しました。（中山間地園芸研究センター）



キュウリ新整枝法 更新型つる下ろし整枝法

初心者でも簡単に取り組み、摘心整枝法と同等の収量性をもつ新整枝法「群馬県版更新型つる下ろし整枝法」を開発しました。（野菜係）



コンニャク越冬栽培技術

コンニャクの一年生栽培の掘り取りと貯蔵作業を省略した越冬栽培技術を開発しました。（こんにゃく特産研究センター）



ニラのハウス栽培における ネギネクロバネキノコバエの防除技術

ニラのハウス栽培において、収穫後に農ポリによる畝の被覆またはハウス密閉処理を3日間行うことで、ネギネクロバネキノコバエを防除できる技術を開発しました。（病害虫係）



キャベツセル成型苗に対応した自動灌水システム

日射量と土壌水分量を測定して灌水することから、少量多回数の灌水となり、土壌の過湿や乾燥を防ぐことができるシステムを開発しました。苗の生育が早まり、効率的にセル成型苗を生産することができます。（高冷地野菜研究センター）



ブドウ新梢管理装置

移動する接触棒によりブドウの副梢へ物理的な刺激を与えて伸長を抑制し、労力負担の大きい新梢管理作業を省力化する装置を開発しました。（果樹係）



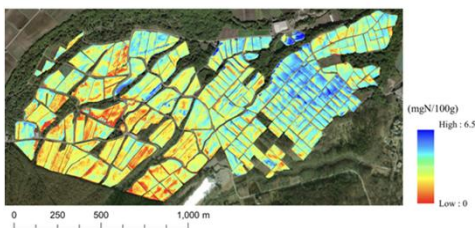
パソコンやスマートフォンでハウスの自動・遠隔制御と温湿度、炭酸ガス、日射量をモニタリングし、管理の省力化を図りました。
(野菜係・東部地域研究センター)



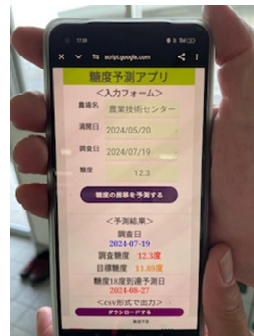
飽差管理による細霧施用で光合成を促進させることで収量が向上しました。
(野菜係・東部地域研究センター)



CO2施用(株元)で光合成を促進させることで収量、品質が向上しました。
(野菜係・東部地域研究センター)



孺恋キャベツの可変施肥に活用が期待される可給態窒素マップを作成しました。
(土壌保全係・高冷地野菜研究センター)



ブドウ「シャインマスカット」の糖度予測法と生産者が自ら予測できるアプリを開発しました。
(果樹係)



キュウリの各節にQRコードをつけることで生育履歴を詳細に把握できるシステムを開発しました。
(野菜係)

AI、IoTを活用した作業の効率化や生産性の向上につながる技術を開発しました。

スマート農業関連技術



水稻奨励品種の選定

本県の気候や栽培体系に適した品種として、「にじのきらめき」、「いなほっこり」などを選定しました。
(稲麦研究センター・東部地域研究センター)



夏秋キャベツを安定生産するための適正な施肥技術の開発

孺恋村の黒ボク土ほ場において、夏秋キャベツの持続的かつ安定的な生産を実現するため、可給態窒素マップと可変施肥機を組み合わせた適正施肥技術の開発に取り組んでいます。
(土壌保全係)

問い合わせ先: 群馬県農業技術センター

本所

0270-62-1021

稲麦研究センター

027-269-4171

中山間地園芸研究センター

0278-22-3358

東部地域研究センター

0276-72-0355

高冷地野菜研究センター

0279-96-1011

こんにゃく特産研究センター

0279-22-2144